

山と海は物語に満ちている

—山と海の本を集めました—

偉大な冒険者たち

『自分を越え続ける』

南谷真鈴／著
ダイヤモンド社 Y786

13歳で山の魅力に目覚めた著者は、19歳にしてエベレスト、さらに、世界七大陸最高峰の登頂に成功した。

厳しいトレーニング、資金ゼロからのスポンサー探し、そして死と隣り合わせの危険との遭遇…数々の困難にも負けずに目標を実現していく姿に、勇気づけられる1冊。(担当I)

『シャクルトンの大漂流』

ウィリアム・グリル／作 千葉 茂樹／訳
岩波書店 Y726

1914年、英国のシャクルトンは、27人の隊員と69頭の犬を引連れて、南極大陸横断を目指して出航した。

見渡すかぎりの氷にかこまれ、時にはブリザードが吹き荒れる中、はたして生きて帰ってこられるだろうか？

地球上で最も過酷な場所に挑んだ偉大な冒険が、迫力ある絵とともに描かれた本。(担当I)

事件は、山と海で起きている

『双頭の悪魔』

有栖川有栖／著
東京創元社(創元推理文庫) B913.6

山奥にある芸術家達の村に行ったら戻らない仲間を心配し、英都大学推理研メンバー4人はその村に向かった。なんとか1人は仲間に接触したものの、谷川にかかる橋が落ちてしまう。そして谷川を挟んだ両側の村でそれぞれ殺人事件が起きて…。この2つの殺人事件をつなぐものとは？読み始めたら止まらない、本格ミステリ！(担当0)

『シャーロット・ドイルの告白』

アヴィ／作 茅野美ど里／訳 佐竹美保／画
あすなる書房 K913

19世紀のイギリス。13歳の令嬢・シャーロットは船でアメリカへと向かっていた。乗客は彼女一人だけ。不安を抱えながら船に乗り込んだが、間もなく船内の不穏な空気に気づく。そして、乗組員たちによる船長への反乱に巻き込まれてしまう。逃げ場もなく、頼る人もいない海の上、果たしてシャーロットの運命は—?(担当0)

山のくらし、海のくらし

『ハイジ』(上・下)

ヨハンナ・シュピリ／作 上田真而子／訳
岩波書店(岩波少年文庫) K943

ハイジは、山の中にひとりで暮らす変わり者のおじいさんの元に預けられた。

美しい自然や動物に囲まれ、伸び伸びと育つハイジは、その素直さで周りの人々をひきつけて変えていく。

スイスのアルプスの山が舞台の児童文学不朽の名作。(担当I)

『大洗おもてなし会議(ミーティング)』

矢御 あやせ／著 toi8／イラスト
マイナビ出版(ファン文庫) B913.6

茨城県の海の町大洗で生まれ育った涼子は、笑うのが苦手な話下手…その一方で祖母の民宿を継ぎたいという夢を持っていた。自分を変えたい涼子は、東京から来た医師加賀先生と共に、自分や町について考えていく。

アニメ「ガルパン」の聖地、大洗の魅力満載の物語。(担当I)

ザ・アオハル（青春）！

『木工少女』

濱野京子／著
講談社 Y913

1年間限定で山奥の学校に引っ越してきた少女・美楽（ミラク）。

「やってられん！あたしは東京に帰る！」コンビニ大好き、スナック菓子大好き。そんな美楽は、どんな1年を過ごしたのか。

山の魅力がたっぷりつまった1冊。（担当 T）

『キャッチ ア ウェーブ』

豊田和馬／著
KADOKAWA Y913

「君のためなら、どんな波でもつかんでみせる！」

あこがれの湘南で初めてのサーフィンに果敢に挑む落ちこぼれ高校生3人組。

初恋の人ジュリアのために大洋は台風直後の大波に命をかけるが…。

同名の映画の原作。
（担当 T）

山を食べ、海を食べる

『ぼくは猟師になった』

千松信也／著
新潮社（新潮文庫） B659

京都の山で、ぼくは猟師になった。大学在学中に狩猟に目覚めた著者は、ワナ猟を学び、シカやイノシシを捕らえる。捕まえた動物はすぐにトドメを刺し、解体をしなければならない。血を抜き、内臓を出し…そうして食べた肉の味は最高だった。会社に勤めながらワナ猟をする青年の狩猟ライフ！（担当 O）

「クジラの民」『アラスカ 光と風』より

星野道夫／著
福音館書店 Y295

極北の大自然に導かれるように、星野道夫はアラスカを旅した。そして、夢だったエスキモーの伝統的なクジラ漁に同行する。

凍った海の上で何日も待ち続け、そしてクジラが現れる。人間とクジラは、同じ生命の延長線上にあり、クジラ漁は彼らのアイデンティティの源であるのかもしれない。

自然と人間の厳しくも荘厳な関係が深い感動を呼び起こす。
（担当 O）

人間を虜にした動物たち

『ベンツ』

緑愼也／著
ポプラ社 489.9

この堂々とした表情。猿界のイケメンであり、日本人に愛された猿「ベンツ」の話。

誰よりも強く気高く、猛々しい。巨大群を統率した「最後のボス」の生涯とは。大分市高崎山の山中に生息した幻のニホンザルの一生を追った、異色のノンフィクション！（担当 T）

『ペンギン大好き！』

川端裕人／著
新潮社 488.6

日本でのペンギンの飼育数は、なんと世界一！しかし、本来の姿を知る人は少ない。

ジャングルの川を泳いで巣に帰る、サボテンの根本に巣を作る、牧場で羊たちと戯れる。こんなペンギン見たことない。自称ペンギン中毒患者が綴る、ペンギンをめぐる旅の物語。（担当 T）

子どもの頃、海水浴場のそばに住んでいました。今思うと恵まれた環境ですね。最近は山に行くことが多かったのですが、久しぶりに海が見たくなりました。（担当 O）

海や山でどのように過ごしますか？ 体を動かす、食べる、ぼーっとする、寝る… 何をしても海や山の中だと、ぜいたくな時間になるような気がしますね。（担当 I）

私は、山梨県で生まれ育ったので、山を見ると“ほっ”とし、海を見ると気分が上がります。安心の山と憧れの海。みなさんにとっての、山・海は？（担当 T）